



[ねんりんピック三島市長報告会20171116](#)

[ねんりんピック三島市長報告会](#)

11月16日三島市役所に於いて、第30回ねんりんピック秋田2017に参加した三島市出場選手団の成績報告会が開催されました。

写真左は豊岡市長を囲んで記念撮影。写真右は市長に成績報告をする選手の皆さん。



[ねんりんピック三島市長報告会](#)

[ねんりんピック三島市長報告会](#)

最初に報告したのは、見事優勝した弓道の選手(写真左)。弓道の団体戦は選手7人で構成され、三島から3人出場、これは珍しい事です。川窪健一さん(68才)、鎌田弘志さん(70才)、秋元功さん(75才)。予選1日目、2日目をトップで通過し、決勝は一人4射。最年長の秋元さんからは優勝宣言したので、優勝できて良かった。観光旅行もできたと感謝の報告が有りました。

ソフトバレーの杉山さん(63才)と森さん(61才)からは、1日目、2日目とも1勝1敗とフルセットの僅差で敗れ、今大会で学んだチームワークの大切さを2年後に活かすと雪辱を誓いました(写真右・中央が杉山、右端が森さん)。



[ねんりんピック三島市長報告会](#)

[ねんりんピック三島市長報告会](#)

囲碁の井上さん(74才)からは囲碁大会は個人がバラバラに戦いながら、その成績で団体戦と個人戦の成績が決まると説明しました。団体戦準優勝、個人戦優勝をしました。

市長からは何段ですか?と聞かれ、段は持っていないがアマチュア6段ぐらいと遠慮がちに答えました(写真左の左端)。

ダンス出場の石川さん(60才)からは団体戦は県で初めて決勝に進出して4位に入賞と報告。野田さん(67才)からは、来月に出場選手で反省会を予定している。次回には雪辱を期すと熱い思いを語りま

した(写真右・左から石川さんと野田さん)。



[ねんりんピック三島市長報告会](#)



[ねんりんピック三島市長報告会](#)

ウォークラリーに出場した上野さん(68才)からは、ウォークラリーの開催場所、参加チーム、競技方法を説明した後、ゲームのポイント以外は失点ゼロで500満点中460点だった。優勝チームと2点差の準優勝と報告しました(写真左・左端)。生きがい特派員として参加した加藤より、ゲーム担当の私のゼロ点が響いたと報告し、開催地の角館の小学生の応援ポスターや、チームに帯同してくれた高校生のおもてなしについて感激したと報告しました(写真右中央)。

豊岡市長からは、2020東京オリンピックはスポーツによる健康づくりがレガシーとして残す話しが有り、ウエルネスシティ三島の取組が注目されている。スポーツ庁の健康作りの委員に任命されました。選手の皆さんより、スポーツの魅力を広く伝えて下さいと話されました。

その後、各参加種目の選手毎に記念撮影をしました。



[ねんりんピック三島市長報告会](#)



[ねんりんピック三島市長報告会](#)

写真左は豊岡市長を囲んで左から、弓道の川窪さん、豊岡市長、鎌田さん、秋元さん。写真右は左からソフトバレー森さん、豊岡市長、杉山さん。



[ねんりんピック三島市長報告会](#)



[ねんりんピック三島市長報告会](#)

写真左は囲碁の井上さん、豊岡市長。写真右はダンスの野田さん、豊岡市長、石川さん。



[ねんりんピック三島市長報告会](#)

最後の写真はウォークラリーの上野さん、豊岡市長、生きがい特派員の加藤。三島市では大会前に出場選手の激励会をして頂き、また大会終了後に成績報告会の機会も頂きました。出場選手にとって、誇りに感じるのは年齢に関係はないと感じました。スポーツにより、仲間ができて、代表目指して運動することにより健康づくりができます。

生きがい特派員として、自分が出場して体験したねんりんピックの魅力。やはり、まず体験することが大事だと言う事を再認識しました。この記事でねんりんピック体験談はその4になります。それ程、多くの体験ができました。スポーツを楽しんで、仲間と交流して、旅行して、美味しい物を食べました。優勝できなくて少し悔しい気持ちが次の目標に繋がると思いました。

皆さん、ねんりんピックに挑戦してみませんか？

取材：東部・田方地区生きがい特派員

加藤 孝